

## 第6 4回地域連携手帳委員会（略称：手帳委員会）会議記録

日時 令和7年6月19日(木) 13時30分～14時10分

会場 新津医療センター病院 大会議室

参加者 12名 欠席10名

### 1. 連携手帳の現状と問題点

- ・昨年開催された第19回連携協議会のグループワークで連携手帳の存在を知らないとの意見があった。

運用のきっかけが無い。誰にどう相談したらいいのか分からないなどの意見もあった。

施設が増えて、携わる人も代わり、だんだんと手帳が薄れてしまっていることは否めない。

ポスターも無くなり、今後PRをどうするか。

- ・むすびあい手帳の発行の基本

ケアマネまたは包括センターから発行する・・・という基本。

この手帳委員会でも暫く（約1年半にわたり）審議。

ケアマネ部会でのアンケート結果でケアマネが配布することの業務負担が大きすぎることから結論として以下の通りとなった。

（第32回手帳委員会議事録～第39回手帳委員会議事録参照）

事業所またはケアマネからの両方可とするいわゆる秋葉区ルールが決まった。

※

今後どのように広め、どのように運用するか・草案を作成し審議することとなった。

### 2 連携手帳の発展的活用について

- ・手帳本体の素材変更について調査・・・事務局

本体価格が高価となっていることから、素材を現行のプラスチックから紙製に変更した場合について出入り業者に聞いてみたところ、紙製は痛みやすく不評であるとともに、むしろ価格が高い。

プラスチック製344円／一冊に対して紙製368円／一冊

紙製については間もなく廃盤となる。

### 3 次回の手帳委員会

令和7年9月18日（木）13時30分～

会場 新津医療センター病院 大会議室

以上